

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法  
有形固定資産及び無形固定資産・・・定額法による減価償却を行っている。
- (2) 引当金計算基準  
退職給付引当金・・・職員の退職給付の支給に備えるため、期末自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理  
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金(基本財産)	241,200,000	0	0	241,200,000
小計	241,200,000	0	0	241,200,000
特定資産				
特定費用準備資金(特)	1,000,000	700,000	0	1,700,000
退職給付引当資産	81,961,186	5,008,000	0	86,969,186
小計	82,961,186	10,686,000	4,978,000	88,669,186
合計	324,161,186	10,686,000	4,978,000	329,869,186

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応す る額)
基本財産				
定期預金(基本財産)	241,200,000	—	(241,200,000)	—
小計	241,200,000	—	(241,200,000)	—
特定資産				
特定費用準備資金(特)	1,700,000	—	(1,700,000)	—
退職給付引当資産	86,969,186	—	—	(86,969,186)
小計	88,669,186	—	(1,700,000)	(86,969,186)
合計	329,869,186	—	(242,900,000)	(86,969,186)

4. 担保に供している資産

該当なし

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産			
建物	2,230,356	1,992,375	237,981
建物附属設備	126,000	125,999	1
什器備品	7,830,715	7,016,041	814,674
館蔵美術品	14,075,000	0	14,075,000
小計	24,262,071	9,134,415	15,127,656
合計	24,262,071	9,134,415	15,127,656

6. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	15,043,315	0	15,043,315
合計	15,043,315	0	15,043,315

7. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
補助金						
国庫補助金	文化庁長官	0	11,352,000	11,352,000	0	—
地方公共団体補助金	出雲市	0	21,000,000	21,000,000	0	一般正味財産
民間補助金	一般社団法人出雲市文化協会	0	1,000,000	1,000,000	0	—
	実践桜会島根支部	0	50,000	50,000	0	—
合計		0	33,402,000	33,402,000	0	